

「第7回 社協 フォーラム」開催要項

～「被災後の支え合い」を切り口とした小地域福祉活動～

1. 開催の趣旨

未曾有の被害を及ぼした東日本大震災はたくさんの方々に様々な影響を及ぼしました。家族や家屋を失った悲しみ、収入の減少による経済的負担の増加、失業による生きがいの喪失など目に見える被災に限らず、精神的な部分に対しての課題が深刻さを増し、今後、仮設住宅や従来の在宅で引きこもりや孤立が増えることが考えられます。

これらの課題に対して必要なことは、専門家による支援だけでなく、いかに日常的により身近な住民同士がお互いに気に掛け合い、関わりを保っていけるかがこれまで以上に重要となってきます。

今回のフォーラムでは、被災後の地域課題に照らし合わせた小地域福祉活動の実践を考え、その力を探り、復興に向けた支え合いの姿と地域福祉活動の原点を確認することを目指して開催します。

2. 主催 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会

3. 日程 平成24年2月4日（土） 午後2時～午後4時30分 ※午後1時30分開場

4. 会場 ベルエア会館 5階会議室ほか（次ページ地図参照）

仙台市青葉区一番町1丁目4-3

*駐車場がございません。公共交通機関をご利用いただくか近隣の有料駐車場をご利用願います。

TEL 022-217-8622

5. 参加対象・定員（150名）

- (1) 市区町村社協の全ての役員・職員（生活支援相談員、介護保険事業等の職員も含む）
- (2) 市区町村の自治会や行政区の関係者
- (3) 行政機関の関係者
- (4) NPO法人等のスタッフ
- (5) 福祉関係者等

6. 参加費 無料

7. 申込み方法

別紙「第7回 社協フォーラム参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、本会あてファクシミリ送信ください。

8. 申込み締切り 平成24年1月20日（金）

9. プログラム

13:30 受付開始

14:00 開会 あいさつ

14:10 基調説明 「被災地における小地域福祉活動の特徴と現在の取り組み」

会場：5階 501会議室

説明：宮城県社会福祉協議会 地域福祉部

14:30 分科会

「小地域福祉活動が持つ力を活かしたこれからの支援活動」

従来から取り組んできた小地域福祉活動がなぜ、いま必要なのか？これまでの被災地での事例や課題を踏まえ、行政が計画し市町村単位で行う活動ではなく、住民自身が主役となり、生活する地域で助け合うことの必要性和その力について、3つのテーマに分かれて深めます。

ミニディスカッションや小グループワーク等により各分科会を進行します。

○分科会1. 「自治会や町内会などによる小地域福祉活動」

ゲスト：山口県内社協／県内活動者 進行： 柏崎市社協 大塚真光子氏

○分科会2. 「サロンなど住民主体の活動の在り方や活性化」

ゲスト：輪島市（能登半島地震支援）／県内活動者／進行： JPCom 代表 桑原英文氏

○分科会3. 「みなし仮設住宅や在宅被災者への支援活動」

ゲスト：東京都内社協（三宅島避難者支援）／県内活動者
進行： レスキューストックヤード 常務理事 浦野愛氏

16:30 閉会

10. 個人情報の取り扱い

本フォーラムに関する参加者の個人情報は、フォーラムの運営にのみ利用させていただきます。

11. フォーラムに関するお問い合わせ・お申込みについて

〈開催に関するお問合せ先〉

宮城県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課 （担当者）北川・浅沼
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2番3号
TEL 022-266-3950 FAX 022-266-3953

12. 会場地図（ベルエア会館）



※駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただくか、有料の駐車場を各自でご利用願います。